

安倍政権の社会保障解体攻撃に抗し、 地域に根を張った社保協活動の強化を！ 5/19 松本社保協年次総会・講演会開催

松本地区社保協は、さる5月19日(土)2018年度の年次総会を開催しました。総会・講演会には各団体から26名が参加し、安倍政権による社会保障解体攻撃に抗して、地域に根を張った社保協活動を強化しようと確認し合いました。



講演会

総会では、久保田会長の開会あいさつのあと、松本市中央西地域包括支援センター長の塩原孝子氏(写真右上)による講演会が開かれました。塩原さんは「地域包括支援センターからみた地域包括ケアシステム」と題して話され、「地域包括ケアシステムとは？」その捉え方、本当の狙い、安倍政権による社会保障制度改革に新段階、昨年可決成立した「地域包括ケア強化法」の中身を告発しながら松本市における新総合事業の状況を紹介し、その問題、課題を挙げ、所属する支援センターの活動を紹介しました。最後に社会保障は国の責任で、「必要な医療・介護の充実」について提起し、民医連が目指す無差別平等の地域包括ケアの考え方、課題について紹介し、社保協の構成団体と共同して地域に根ざした活動を展開していきたいと強調しました。

年次総会

講演会のあと、2018年度の年次総会が開かれ、湯浅事務局長(写真右)から昨年度の活動報告と本年度の活動方針案の提案や2017年度会計の報告がされ、堀内監事から会計監査報告がありました。また、湯浅事務局長から2018年度予算案が提案されました。

報告の後、七人の参加者から発言がありました。「国保、介護の実態を多くの構成員対象の学習会、全市議に向けた取り組みの展開を」「病院の入院費用が値上げされ患者から悲鳴の声があがっている」「年金支給額が連続引き下げされ、保険料は引き上げられ高齢者の生活は大変」「生活保護費の引き下げ法案が参議院の段階で重大事態になっている」など。

討論のまとめを事務局長が行ったあと、参加者全員の賛同で議案が採択されました。最後に御子柴副会長から閉会のあいさつがあり、議事を終了しました。



福祉医療給付制度の改善をすすめる会講演会

日時：2018年5月27日(日)13:00から

場所：松本市勤労会館2階会議室

講師：群馬県新婦人会長 野村喜代子氏

「群馬県での子ども医療費完全無料化実現の運動と今」

講演会の後年次総会が開かれます。

国保改善運動2018年全県交流集会

日時：2018年6月30日(土)13:00～

場所：松本市駅前会館4階会議室

内容：都道府県化後の保険料の分析

手遅れ死亡事例、滞納差押えの実態

払える保険税に向けた運動と課題